

スカッファイルミネーション

取付要領書

品番

品番	A	ノーマル車用	0852D-53080
	B	F SPORT 車用	0852D-53090

部品構成

No.	品名	品番	個数	
			A	B
			スカッファイルミネーション	
1	スカッフプレートRH	08226-53011	1	-
		0852D-53071	-	1
2	スカッフプレートLH	08226-53012	1	-
		0852D-53072	-	1
3	電源ハーネスRH	—	1	1
4	電源ハーネスLH	—	1	1
5	クランプ	—	15	15
6	スポンジテープ (小)	—	4	4
7	スポンジテープ (大)	—	3	3
8	PVC シート	—	2	2
9	プロテクター	—	4	4
10	シートテープ	—	2	2

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

△ 注意 ……注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたりするなどの恐れがあります

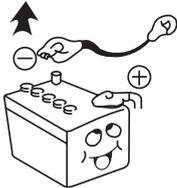
注意 ……注意事項を守らないと車両部品や装備品が損傷するなどの恐れがあります

👉 アドバイス ……スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

1. 車両を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行ってください。
2. 下回り作業中は安全に配慮し、エンジン始動および乗車は絶対しないでください。
3. 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時に間違いのないよう配慮してください。また、車両および取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
4. バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

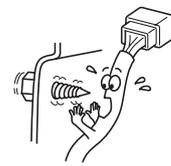
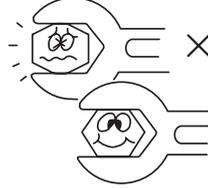
取り付ける前に

- バッテリーの(－)側ケーブルをはずす



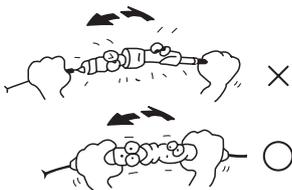
部品の取り付けは

- 寸法にあった工具を使う
- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



配線は

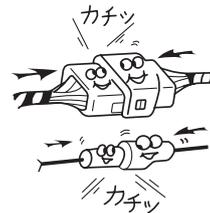
- コネクターは本体を持つてははずす



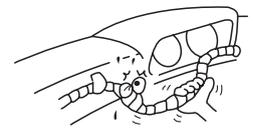
- 車両ハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する



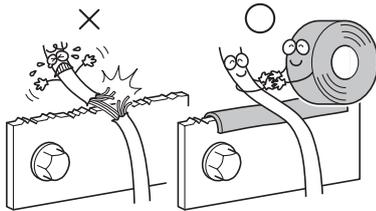
- コネクターは確実に接続する



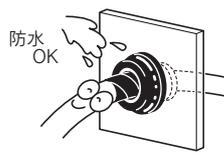
- 無理に引っ張らない



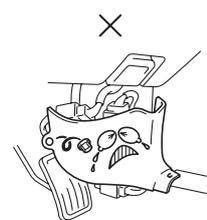
- バリ・エッジ部はガムテープ等で保護する



- グロメットから配線する場合は、防水処理を完全にする



- 車両部品が確実に復元できるようハーネスを処理する



クランプは

- はだか線にはクランプしない
- 余った部分をカットする
- カットした末端が他のハーネスと接触しないように注意する
- コネクターを異音がしないようにクランプする



取り付け完了後は

- 取りはずした車両部品は確実に復元する



△ 注意

バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。

取り付けに必要な工具等

- ・ 一般工具、保護テープ、ニッパー、ヤスリ、樹脂リムーバー、レクサスエレクトリカルテスター、参照マニュアル・・・修理書、配線図集等

始業点検

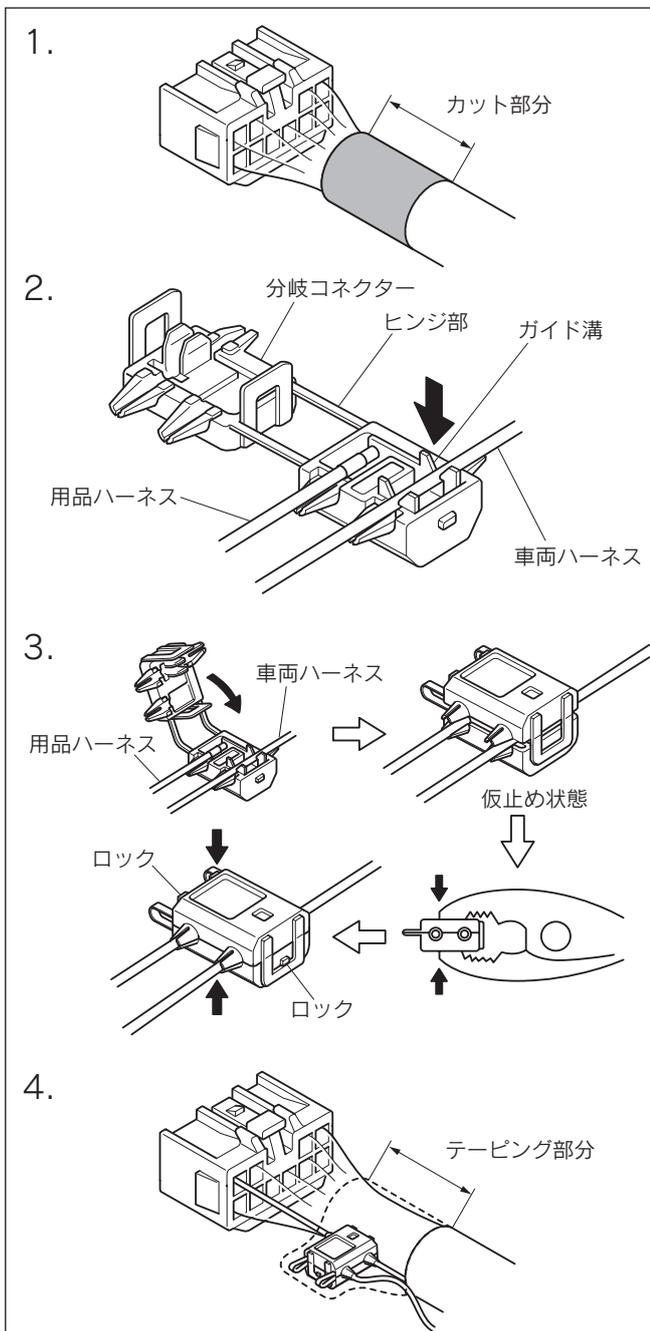
ドアロック・パワーウインド・インジケーター等、電気系統の作動確認を実施してください。

分岐コネクタの接続方法

分岐コネクタ使用上の注意事項

1. 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。
2. 分岐コネクタは、他の用品が装着されている場合でも必ず、車両ハーネスに接続してください。
3. 分岐コネクタ接続時に、クリック音と合わせてロック（2箇所）が確実に嵌合した事を確認してください。
4. 接続するコネクタの端子番号および、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
5. 同一コネクタに複数の分岐コネクタを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
6. ヒンジ部が破損しても確実にロック（2箇所）できれば性能上問題ありません。
7. 一度使用した分岐コネクタは再使用しないでください。誤って接続した場合、分岐コネクタを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

分岐コネクタ使用上の注意事項



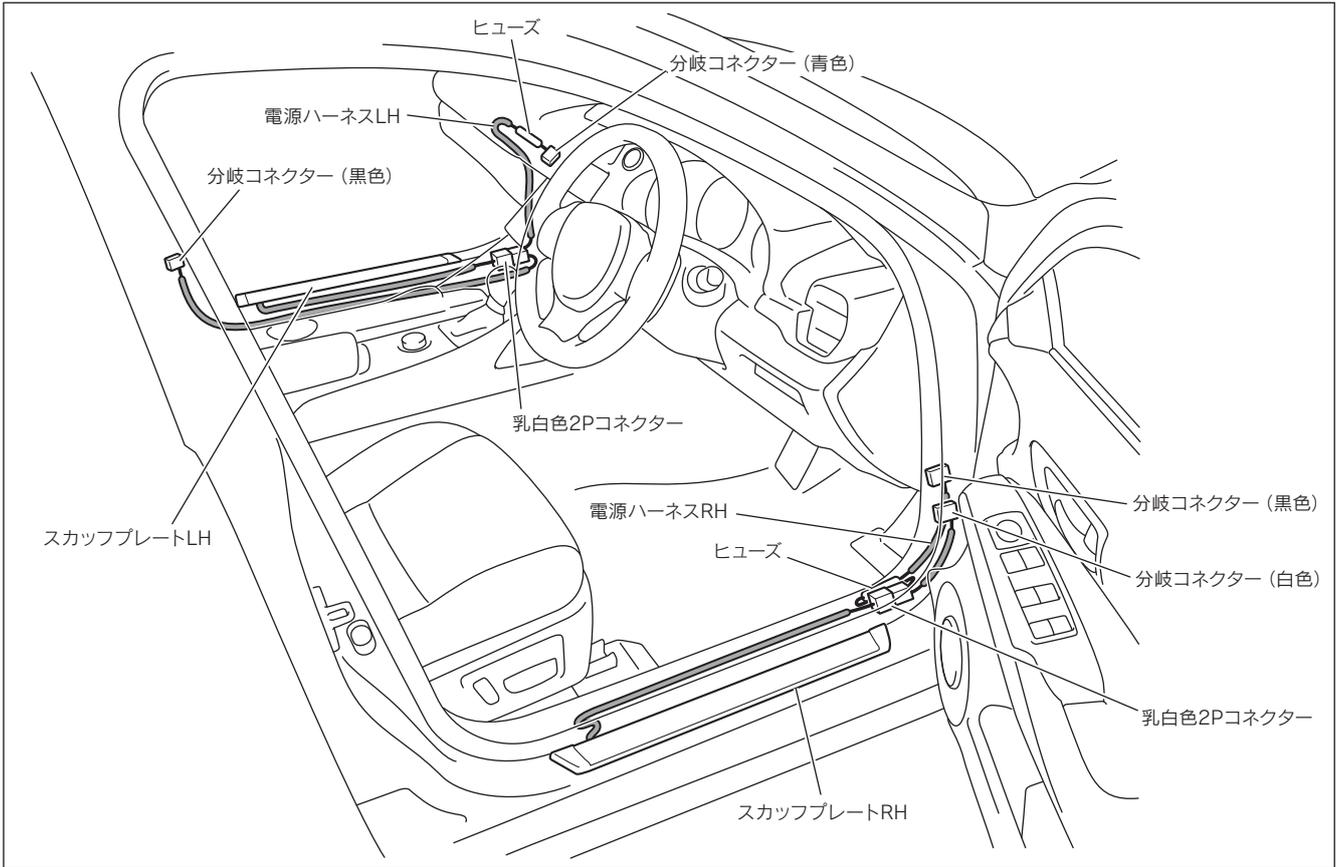
1. 接続する車両ハーネスがビニールチューブおよびビニールテープで覆われている場合は、適量をカットしてください。

2. 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝へ挿入してください。

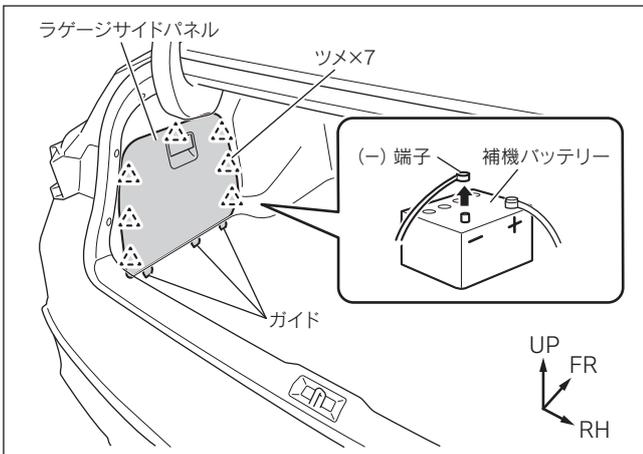
3. 車両ハーネスをガイド溝に収めた後、分岐コネクタを折り返し、仮止め状態を作りプライヤー等の工具を使用して左右のロックがかかるまで確実に挟み込んでください。（クリック音を確認）

4. 分岐コネクタ接続位置を、テーピング処理してください。

取付概要



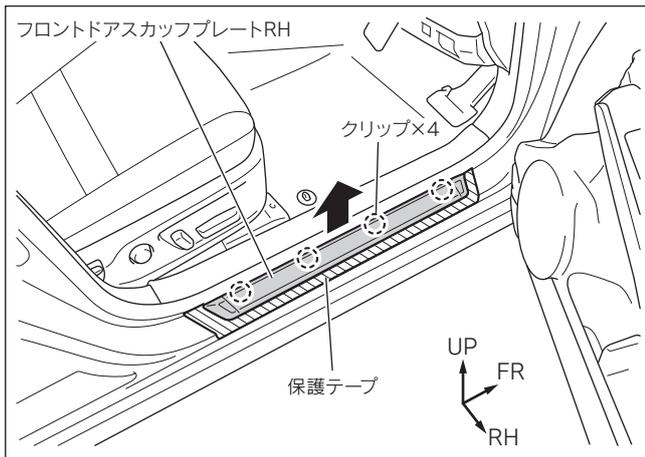
車両部品の取りはずし



以降の作業は、RH側の作業要領を示しますが、特に指示の無い限り、LH側も同様に作業を行ってください。

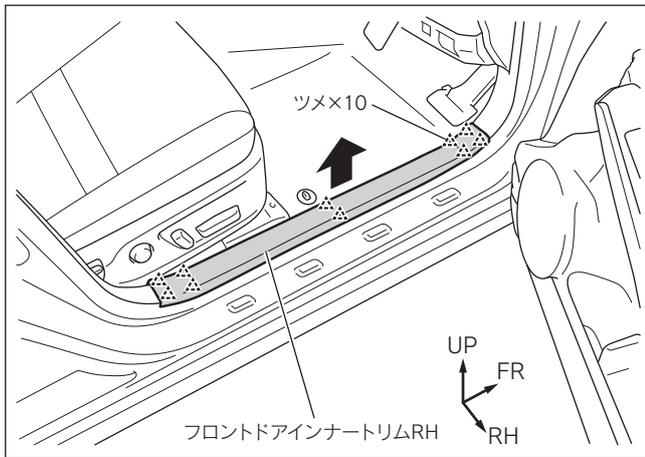
補機バッテリー (-) 端子の取りはずし

- (1) ツメ (7箇所) のかん合をはずし、ラゲージサイドパネルを取りはずす。
- (2) 補機バッテリーの (-) 端子を取りはずす。



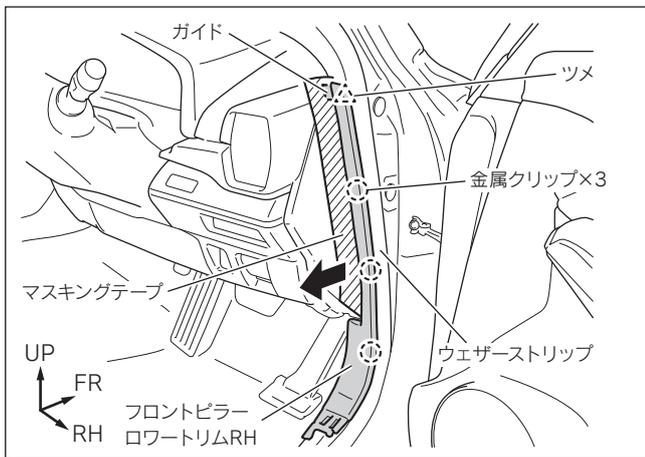
フロントドアスカフプレート RH の取りはずし

- (1) 図示に従い、保護テープを貼り付ける。
- (2) 保護テープを巻いた樹脂リムーバーでクリップ (4箇所) をはずし、フロントドアスカフプレート RH を取りはずす。



フロントドアインナートリム RH の取りはずし

- (1) ツメ (10箇所) をはずし、フロントドアインナートリム RH を取りはずす。

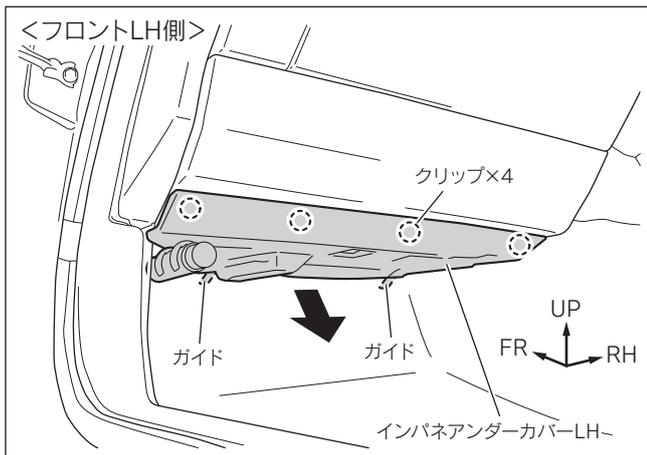


フロントピラーロワートリム RH の取りはずし

- (1) 図示に従い、保護テープを貼り付ける。
- (2) 金属クリップ (3箇所)、ツメをはずし、フロントピラーロワートリム RH を取りはずす。

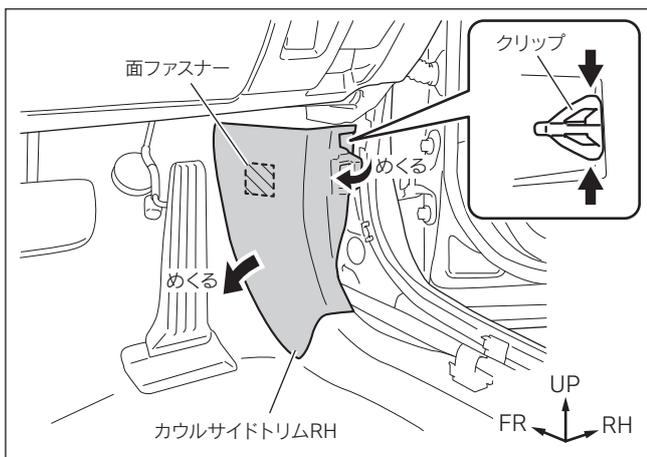
👉 アドバイス

ウェザーストリップはシーラーが塗布されている為、ウェザーストリップがめくれないよう金属クリップ部を押さえながら取りはずしてください。



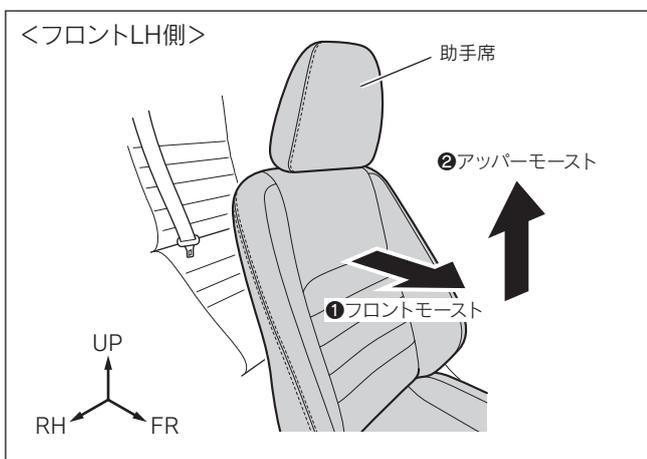
インパネアンダーカバー LH の取りはずし

- (1) クリップ (4箇所) をはずし、インパネアンダーカバー LH を取りはずす。
- (2) フロントドア LH のドアセンサーのコネクターを取りはずす。



カウルサイドトリム RH のめくり

クリップ、面ファスナーをはずし、カウルサイドトリム RH をめくる。



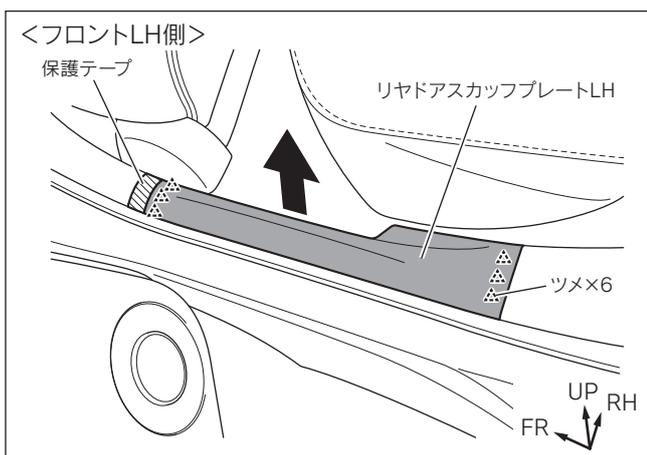
助手席の移動

- (1) 補機バッテリーの (-) 端子をつなぐ。
- (2) 助手席を①フロントモーストにスライドさせ、②アッパーモーストに動かす。

注意

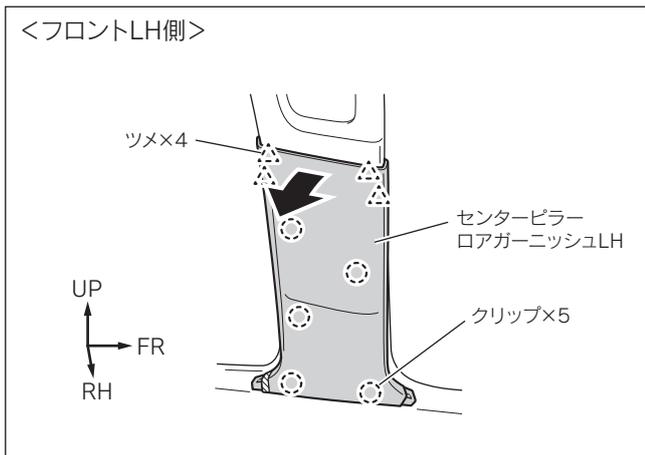
フロントシートのヘッドレストが天井に当たらないよう注意してください。

- (3) 補機バッテリーの (-) 端子を取りはずす。



リヤドアスカッフプレート LH の取りはずし

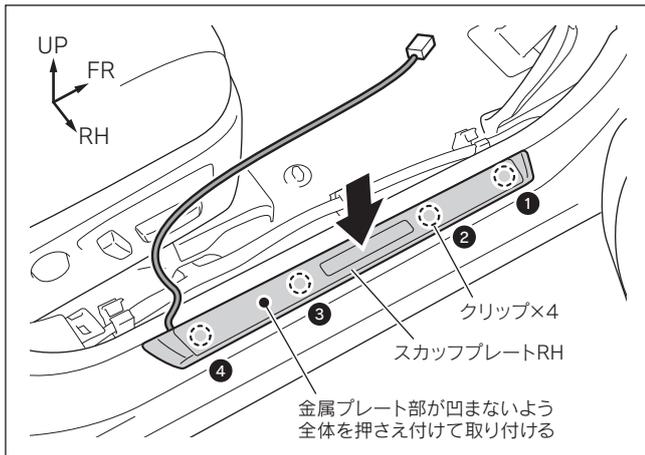
- (1) 図示に従い、保護テープを貼り付ける。
- (2) ツメ (6箇所) をはずし、リヤドアスカッフプレート LH を取りはずす。



センターピラーロアガーニッシュ LH の取りはずし

- (1) クリップ (5箇所)、ツメ (4箇所) をはずし、センターピラーロアガーニッシュ LH を取りはずす。
- (2) 補機バッテリーの (-) 端子をつなぐ。
- (3) 助手席をリヤモーストにスライドさせる。
- (4) 補機バッテリーの (-) 端子を取りはずす。

スカッフプレートの取り付け



スカッフプレート RH の取り付け

- (1) 図中①→④の順にクリップ（4箇所）でスカッフプレート RH を取り付ける。

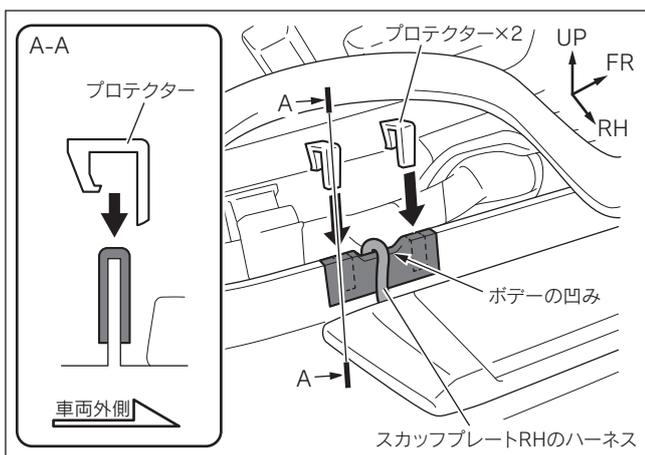
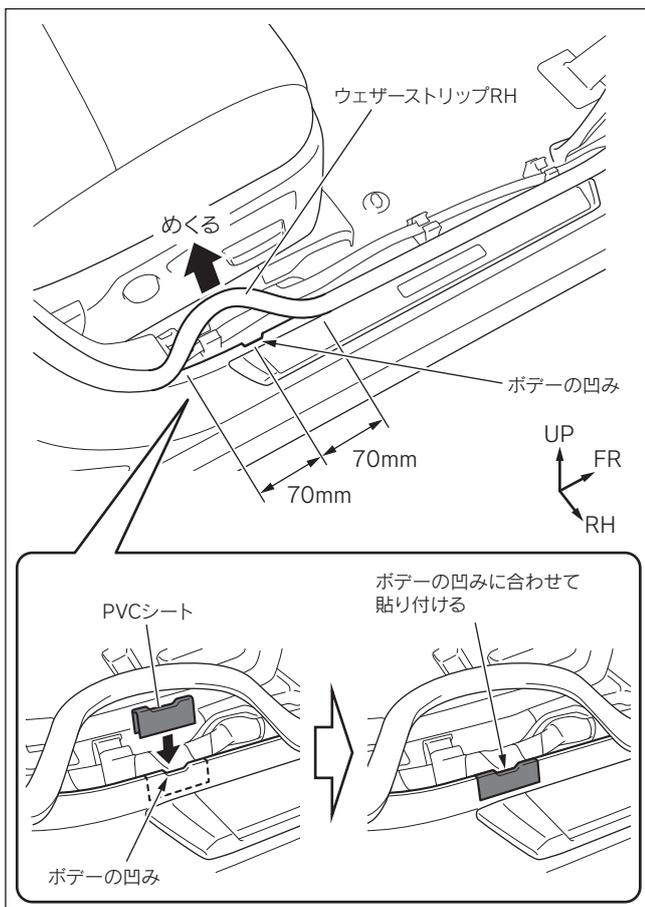
注意

取り付ける際は、スカッフプレート RH 全体を手のひらで押さえ付けてクリップをかん合してください。指先で部分的に加圧すると、スカッフプレート RH 表面の金属部が変形する恐れがあります。

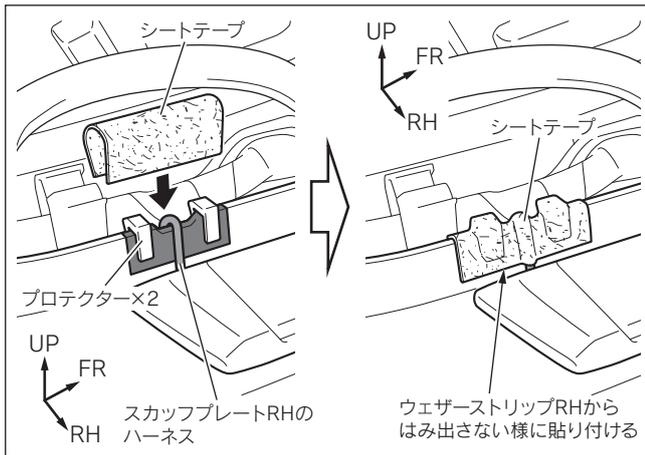
- (2) 図示寸法に従い、フロントドア RH 開口部下側のウェザーストリップ RH をめくる。
- (3) スカッフプレート RH のハーネス保護の為、ボデーの凹みに PVC シートを貼り付ける。

アドバイス

1. 貼り付ける際は、貼り付け位置の汚れ、水分、油分を十分に拭き取ってください。
2. PVC シートは、ボデーの凹み形状に合わせて貼り付けてください。
3. ボデーの凹みの前後70mm の範囲をめくって作業してください。指定の範囲以外は、不乾性シーラーが塗布されていますのでめくらないでください。



- (4) スカッフプレート RH のハーネスをボデーの凹みに配線する。
- (5) スカッフプレート RH のハーネスの両側に保護の為のプロテクター（2箇所）を取り付ける。

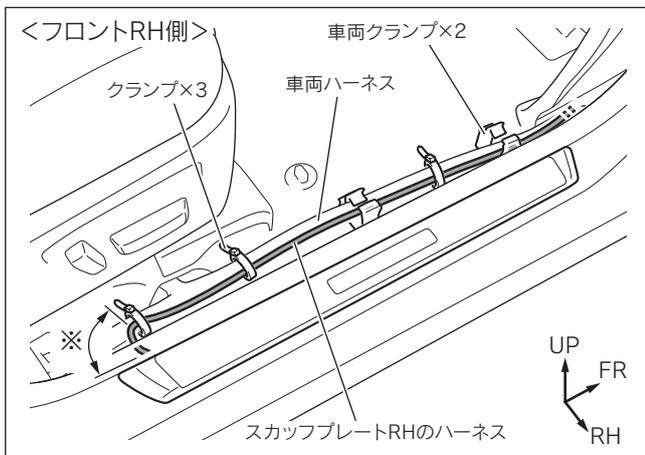


- (6) プロテクター（2箇所）およびスカッフプレート RH のハーネスを覆うようにシートテープを貼り付ける。

アドバイス

シートテープはウェザーストリップ RH からはみ出ないように貼り付けてください。

- (7) ウェザーストリップ RH を復元する。



スカッフプレート RH のハーネスの配線

スカッフプレート RH のハーネスを車両ハーネス RH に沿って配線し、クランプ（3箇所）および車両クランプ（2箇所）で固定する。

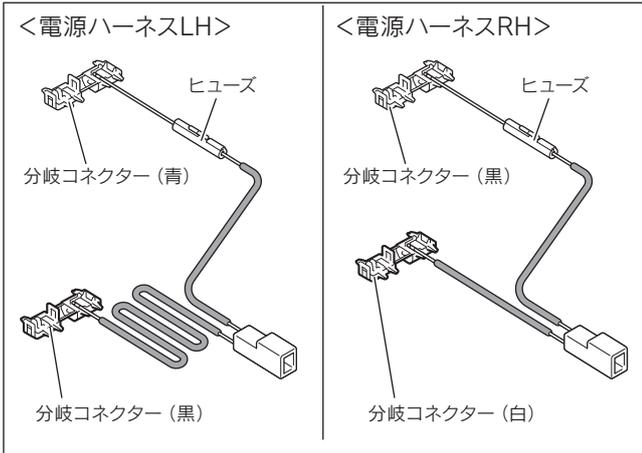
注意

車両部品復元時に断線する恐れがあるため、図中※間のスカッフプレート RH のハーネスが突っ張らないように配線した状態で固定してください。

アドバイス

スカッフプレート LH のハーネスの配線については P.13「スカッフプレート LH と電源ハーネス LH の配線」に記載があります。

電源ハーネスの配線



電源ハーネスについて

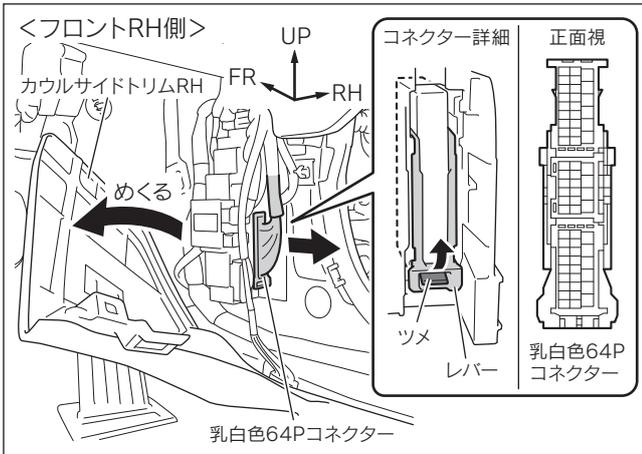
注意

電源ハーネスは、RH・LHで分岐コネクタが異なります。

RH・LHを間違えて使用すると車両ハーネスの断線および作動不良の恐れがある為、確認の上、正しく使用してください。

RH・・・白色・黒色分岐コネクタ

LH・・・黒色・青色分岐コネクタ

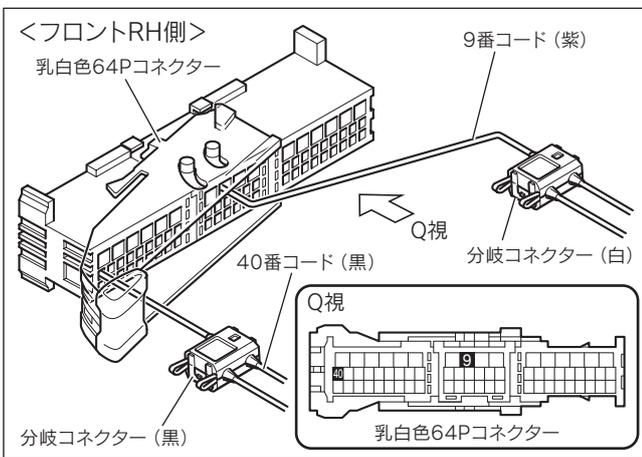


運転席側の配線

(1) 図示に従い、ツメをはずし、乳白色64Pコネクタをはずす。

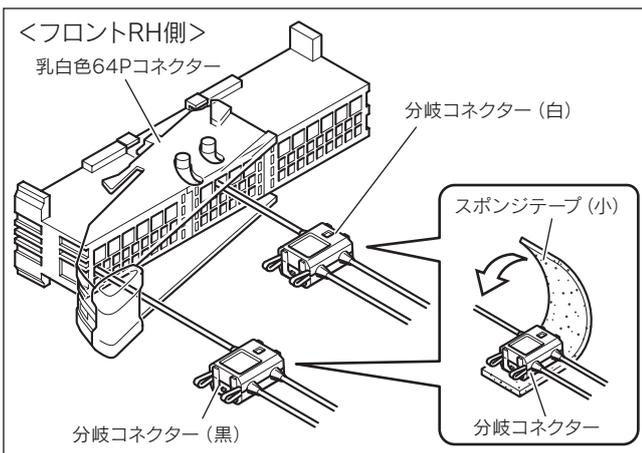
(2) 電源ハーネスRHの分岐コネクタ(黒)を乳白色64Pコネクタの40番コード(黒)に接続する。

(3) 電源ハーネスRHの分岐コネクタ(白)を乳白色64Pコネクタの9番コード(紫)に接続する。



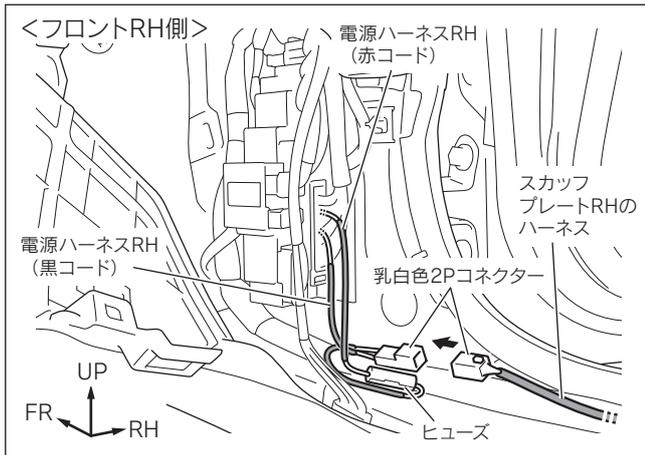
注意

コネクタ内に同じ線色が複数ありますので、接続の際はハーネスの端子番号を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。

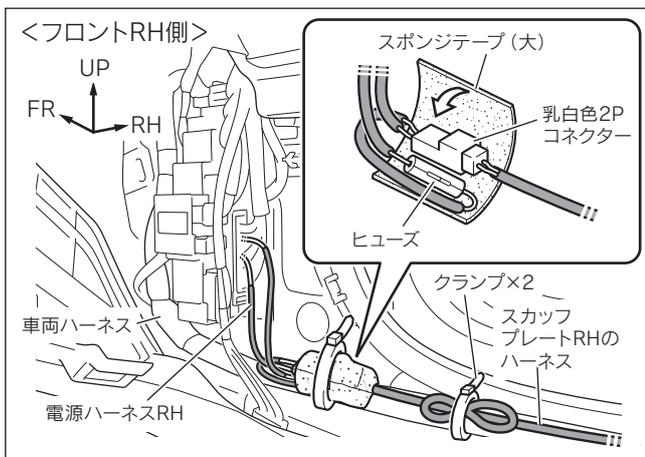


(4) 異音防止の為、接続した電源ハーネスRHの分岐コネクタ(2箇所)にスポンジテープ(小)を巻き付ける。

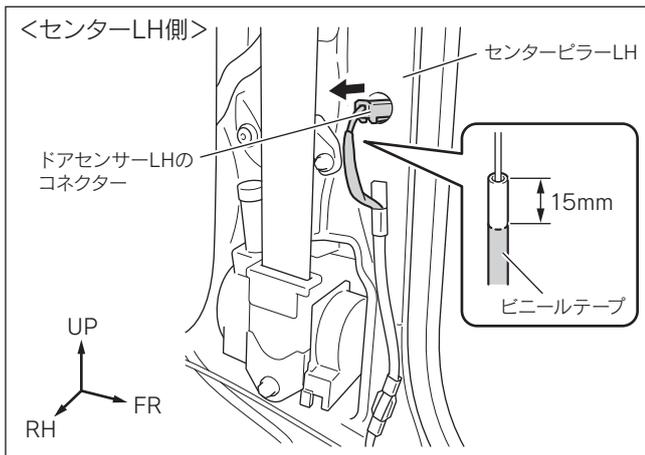
(5) 乳白色64Pコネクタを復元する。



- (6) 電源ハーネス RH の乳白色2P コネクタをス
カッフプレート RH の乳白色2P コネクタに
接続する。

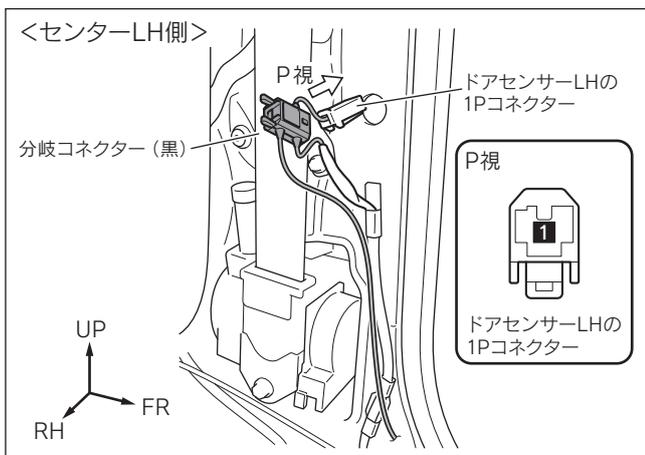


- (7) 異音防止の為、電源ハーネス RH のヒューズと
乳白色2P コネクタにスポンジテープ (大)
を巻き付け、クランプで車両ハーネスに固定す
る。
- (8) スカッフプレート RH のハーネスの余長と車両
ハーネスをクランプで固定する。

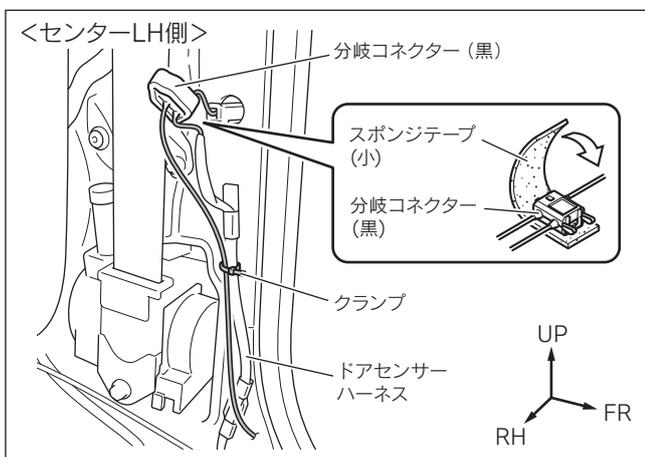


助手席側の配線

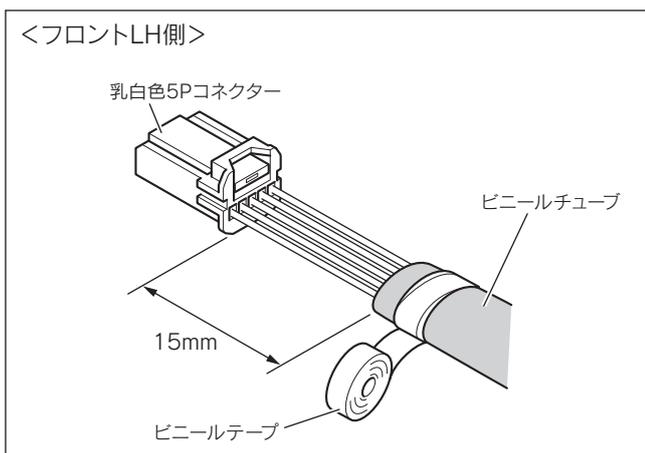
- (1) センターピラー-LHのドアセンサー-LHのコネクタを取りはずす。
- (2) ドアセンサー-LHのコネクタの後端から15mmの位置までビニールチューブをカットする。
- (3) ビニールチューブ端末にビニールテープを巻き付ける。



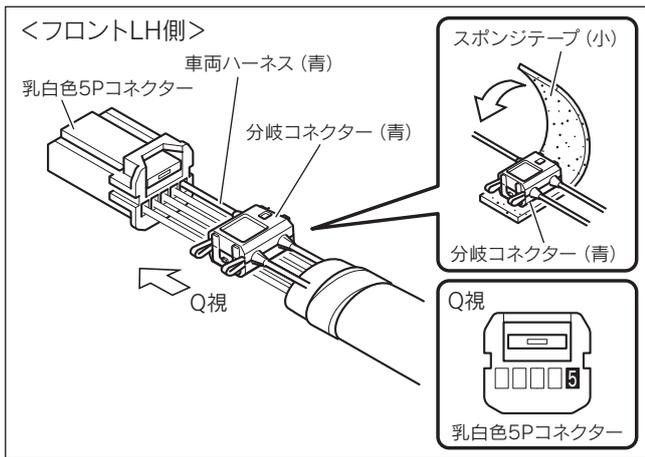
- (4) ドアセンサー-LHの1Pコネクタの1番コード(紫)に電源ハーネス-LHの分岐コネクタ(黒)を接続する。



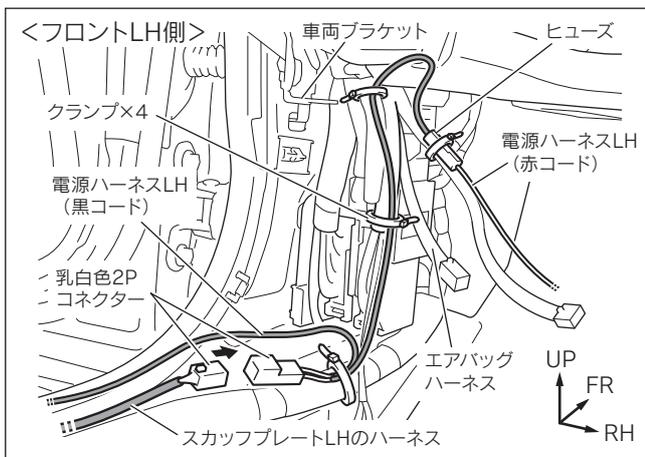
- (5) 異音防止の為、接続した分岐コネクタ(黒)にスポンジテープ(小)を巻き付ける。
- (6) 電源ハーネス-LHの余長を束ねて、ドアセンサーハーネスと共にクランプで固定する。
- (7) ドアセンサー-LHのコネクタを復元する



- (8) インパネアンダーカバー-LHのフットランプ-LHに接続されていた乳白色5Pコネクタの後端から15mmの位置までビニールチューブをカットする。
- (9) ビニールチューブ端末にビニールテープを巻き付ける。



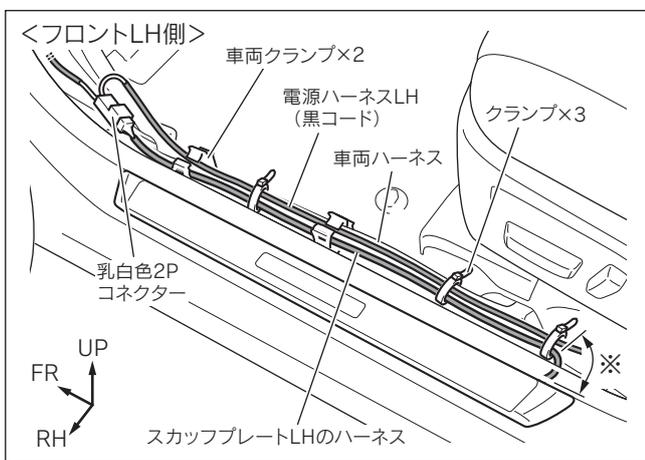
- (9) 乳白色5P コネクタの5番コード (青) に電源ハーネス LH の分岐コネクタ (青) を接続する。
- (10) 異音防止の為、接続した分岐コネクタ (青) にスポンジテープ (小) を巻き付ける。



- (11) 電源ハーネス LH を配線し、クランプ (4箇所) で固定する。
- (12) 電源ハーネス LH の乳白色2P コネクタをスカッフプレート LH の乳白色2P コネクタに接続する。

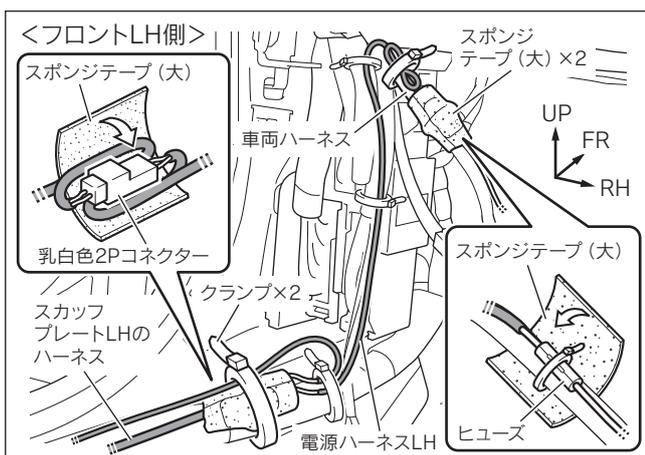
注意

固定の際は、エアバックハーネスに固定しないよう注意してください。



スカッフプレート LH と電源ハーネス LH の配線

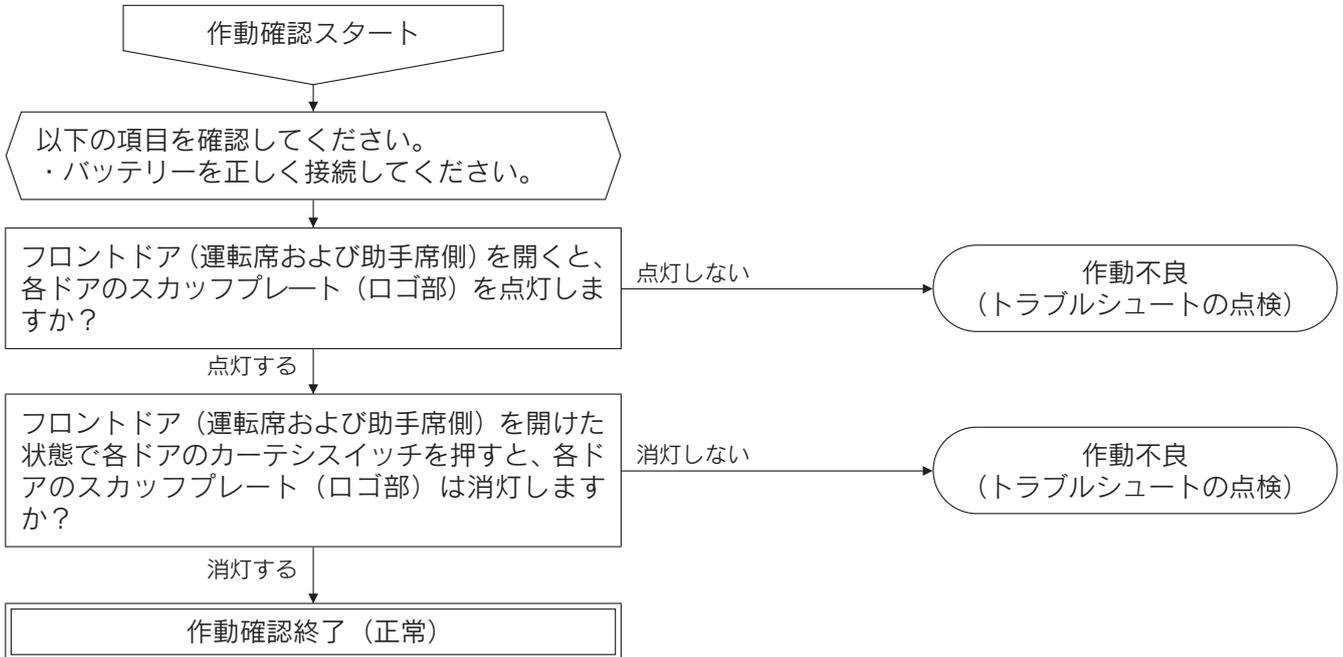
- (1) スカッフプレート LH のハーネスと電源ハーネス LH を車両ハーネス LH に沿って配策し、クランプ (3箇所)、車両クランプ (2箇所) で固定する。



- (2) 異音防止の為、電源ハーネス LH のヒューズにスポンジテープ (大) を巻き付ける。
- (3) 異音防止の為、スカッフプレート LH のハーネスと電源ハーネス LH の余長を束ねて、接続したコネクタと共にスポンジテープ (大) を巻き付け、クランプで車両ハーネスに固定する。
- (4) 電源ハーネス LH の余長を束ねて、クランプで車両ハーネスに固定する。

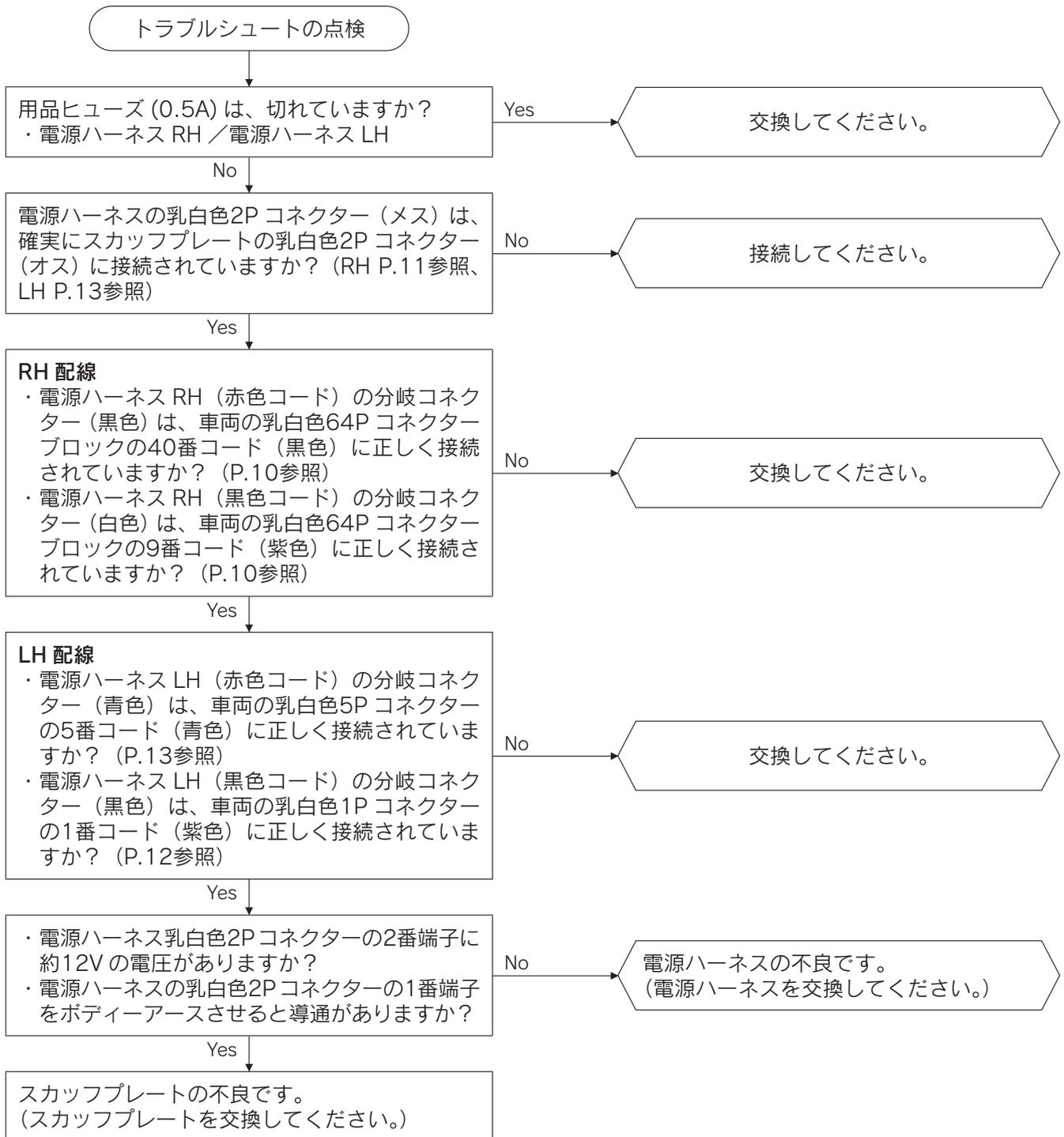
作動確認

1. 作動確認を行う前に、配線および取り付けに異常がない事を確認してください。
2. 以下の手順に従って作動確認を行ってください。尚、作動不良が発生した場合は、指示に従って点検作業を実施してください。



トラブルシュート

このトラブルシュートは、作動確認の作業で作動不良となった場合の点検方法を記載してあります。



復元作業

取りはずした車両部品を下記の点に注意しながら元通りに取り付け、貼り付けた保護テープを剥がしてください。

注意

復元作業は、車両ハーネス及び用品ハーネスの噛み込みや、車両部品の損傷に充分注意してください。

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。

車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。

※車両システムの初期化には、GTS+等のツールが必要な場合があります。

最終確認

1. ハーネス類の噛み込みおよび、車両部品の取り付けミスがないかもう一度確認してください。
2. ドアロック、パワーウインド、インジケーター等、電気系統に異常がないか確認してください。

注意

シートベルトを動かし、車両ハーネスおよび用品ハーネスに干渉していない事を必ず確認してください。シートベルト作動不良の原因になる恐れがあります。

配線図

